

地域概略

《カナダ ユーコン準州》

ユーコンはノースウェスト準州と並ぶカナダの準州。日本の3倍という広大な地域のほとんどは氷河が造り上げた山や湖、川におおわれ、手つかずの自然を残している1898年、カナダ北部の荒野で金が発見されたのをきっかけに、金を探し求める人々がこの一帯を目指し、いわゆるKlondike Gold Rushを引き起こした。現在もその足跡は各地に残り、訪れる人の目をひく。

《アメリカ アラスカ州》

アメリカ最大の州アラスカは、面積はアメリカ第2のテキサス州の2倍強もあり実に日本の4倍強の面積にあたる。この広大な地域の95%以上は、いまだに原生自然のままのエコシステムを保っており、アラスカ全土の34%（日本の1.35倍）が国立公園、国立保護区、国定野生保護区に指定されてる。原生自然地域は、世界最大のマラスピナ氷河を含む大小約5000の氷河や、北米大陸最高峰のマッキンレー山と、北米大陸ベスト20内に入る17峰を含む山岳地帯、そして北米第4の長さを持つユーコン河を含む大小約3000の河川と300万を超える湖沼があり、アラスカの32%を覆っている森林もほとんど手つかずの状態と言ってよい。

《原住民》

ユーコン河流域にはアサバスカインディアンと河口近くにユピックエスキモーが住んでいる。カナダの川沿い町は住民の殆どが白人である。アラスカに入るとどの村でも大多数が原住民である。

河川概略

ユーコン河は、カナディアン・ロッキー山脈の谷間の水を集め、カナダ・ユーコン準州から途中幾多の大小様々な河川が合流しながらベーリング海に至る全長約3000kmの川であり、日本列島を上回る程の長さをもっている。高緯度河川であるため冬の間は日照時間が短く、厚い氷が河川を覆う。4月下旬には春の訪れと共に解氷が始まり、冬とは逆に白夜となり6月には氷がすべて流れ去る。そして10月には再び凍結し始める。流速は上流で10km/h、下流でも4km/hと源流から河口まで速く深い流れがある。ユーコン河には3つの急流地帯があるが、溪谷を流れる川ではないので比較的河川勾配は小さい。ユーコンフラットと呼ばれる大湿原地帯では、川幅は10kmくらいに広がり、地図では迷路のように入りくみ、川の中に島があり、更にその島を川が流れている状態である。この地域では、突然雨を伴った強風が吹き、湖や川幅の広い所ではたちまち1メートルを超える波が発生する。夏のカナダ・ユーコン河は、ゴールドラッシュ当時の史跡の川であり、アラスカ・ユーコン河は、土地の人々が往来する交通路であり鮭漁を営む生活の川である。